

心の通い合う
がん医療のために

第3回 がん患者大集会

of the patients, by the patients, for the patients

変えよう日本のがん医療、手をつなごう患者と家族たち。

と き ● 2007年8月26日 [日] 午後1時～5時 / 開場: 12時20分

ところ ● 広島国際会議場 広島市中区中島町1-5 平和記念公園内

主催 ● 第3回 がん患者大集会実行委員会 NPO法人がん患者団体支援機構 (理事長 俵 萌子)

【共催】 がん患者と家族の会「かたくりの会」、岩手にホスピス設置を願う会、秋田県肺がんネットワーク「あけびの会」、茨城よろこびの会、森の会—筑波メディカルピンクリボンの会—、1、2の3で温泉に入る会、放医研患者友の会、NPO法人ブーゲンビリア、NPOキャンサーネットジャパン、日本肝臓病患者団体協議会 (日肝協)、がん患者と家族・遺族の会 どんぐりの会、ひまわりの会 (関東中央病院乳がん患者の会)、がんナビゲーション市民ネットワーク、ソレイユ、患者の集い・モミの木、財団法人がんの子供を守る会、がん患者会「コスモス」、灘・GMC (がんまん・くらぶ)、がん患者支援プロジェクト、山梨まんまくらぶ、沼津市立病院内患者会オリーブの会、乳がん体験者と家族の会「ラ・ヴィアン・ローズ」、NPO法人いずみの会、きらら会、県立西宮病院虹の会、大阪市大がん患者サポートの会「ざんなん」、がんを語る有志の会、がん患者グループ ゆずりは、光都2005、老いと命を支える会、がんの患者と家族のためのクラブ「並木ひろば」、乳腺疾患患者の会「のぞみの会」、乳癌患者友の会「きらら」、びわの葉の会、広島・ホスピスカをすすめる会、周南いのちを考える会 ラ・ビューの集い、こぶしの会、ガンフレンド、がんを学ぶ「青葉の会」、乳がん体験者の会 つどい「いずみ」、オンライン乳がん患者グループGT4、日本医療コーディネーター協会、高知がん患者会「一喜会」、ピンクリボンの会「ソフィア」、特定非営利活動法人グループ・ネクサス、ゆずりは明石、市民のためのがん治療の会北海道支部、ヘイシェントアクティブ びわの会、久慈かたくりの会、NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークビューア、中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会、すくすく・網膜芽細胞腫の子どもをもつ親の会、胃を切った人友の会 アルファ・クラブ、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会、(財) 阪喉会、NPO法人日本ホスピス・在宅ケア研究会、NPO法人エスビューロー、尾道・生と死を考える会、生きがい療法実践会、ハミングすみれ会、緩和ケアを考える会・広島、びんご 生と死を考える会、あすかの会、ハートの会、肝芽腫の会、NPO群馬前立腺がん患者さんを支援する組織、あいちホスピス研究会、日本骨髄腫患者の会、ウイメンズキャンサーサポート、がん患者支援ネットワークひろしま (順不同 全国のがん患者関連団体70団体 2007年4月30日現在)

第3回 がん患者大集会 開催趣意

がん患者大集会はこれまで「変えよう日本のがん医療、手をつなごう患者と家族たち」をメインテーマに掲げ、第1回(大阪市)、第2回(東京都)を開催しました。2007年はがん対策基本法が施行された記念すべき年です。そして、どこに住んでいても誰であっても最善・最適の治療を受けられるようにしていくために、国や地域のレベルでがん医療を変革していく大事な出発の年です。

今回は特に、緩和ケア、がん患者と家族の心のケアを主要課題として、患者・体験者・家族と医療・介護・福祉に携わる方々と、ボランティア、さらにがん医療に関心のある方々に広く参加を呼びかけました。講演、シンポジウムを通して、共に考え、話し合い、そして共感し、連帯し、よりよいがん医療へ変革していく大きなエネルギーを生み出したと思っています。

特別企画

3

がんになっても 幸せな毎日を 送るために

「がんと心のケア:希望を支えるサイコオンコロジー」の取り組み
内 富 庸 介 氏 [国立がんセンター精神腫瘍学研究部部長]

「緩和ケアの広がりをめざして」
～広島県緩和ケア支援センターの取り組み～
本 家 好 文 氏 [広島県緩和ケア支援センター]

大会 アピール

俵 萌 子 氏
[がん患者団体支援機構 理事長]

心の通い合う がん医療のために

プログラム

開会 午後1時 ▶

1

ご挨拶

名誉大会長 田原 榮 一 氏
[財団法人 広島がんセミナー理事長]

2

がん患者と家族の 思いを伝えよう

荒 金 幸 子 氏

[呉共済病院 在宅医療指導管理室 師長/乳がん患者]

PROFILE ●昭和63年乳がんにて左乳房切断術施行。平成2年肝臓転移。平成12年脳下垂体に転移。平成14年肝臓転移再発。化学療法による副作用にて心停止後ペースメーカー装着。平成19年3月肝臓に再発、現在も治療中だが、幾度も再発を乗り越え、看護師として働いている。

川 守 田 裕 司 氏

[岩手にホスピス設置を願う会 代表]

PROFILE ●2000年、妻が子宮がんで死去。妻が痛みで苦しんだ日々への思いから、2002年岩手にホスピス設置を願う会設立。緩和ケア病棟の設置、精神的ケアの充実を願う。

逸 見 晴 恵 氏 [エッセイスト]

PROFILE ●オフィスいつみ代表取締役社長。フジテレビアナウンサーだった故逸見政孝氏の死去後、がんを中心にした末期医療のあり方や、現代医療に関する講演活動を行っている。自身も子宮頸がん経験者であることを最近の著書で告白している。

中 島 英 子 氏 [胃がん患者]

PROFILE ●昭和51年生まれ。22才の時、胃がんと診断され、同年、胃の4分の3を切除の手術を受ける。一年以内の再発率80%と告げられるが、再発なく社会復帰を果たす。

4

シンポジウム

がん患者の心と体の痛み

コーディネーター 伊 藤 一 亘 氏 [中国新聞社]

がん患者及びその家族
行政関係者

石 口 房 子 氏 [YMCA訪問看護ステーション・ピース所長]

栗 原 幸 江 氏 [静岡がんセンター緩和医療科心理療法士]

毛 利 祐 子 氏 [がん心のケアの会代表(乳がん体験者)]

▶ 終了 午後5時

※プログラムを変更する場合がありますので、ご了承ください。楽しい企画・イベントも盛り込む予定です。

【がん患者大集会参加応募方法】

- 複数名でご参加される場合は、参加者全員のお申し込みが必要です。全員の方のお名前・ふりがな・ご住所をご記入の上、はがき、メール、FAX、ホームページのいずれかの方法でお申し込みください。2名以上御参加の場合、右頁の専用はがきをコピーして全ての方のお名前をご記入の上いずれかの方法でお申し込みください。
- 受付は、参加証の発送をもってかえさせていただきます。定員オーバーなどの理由で受付できなかった場合、参加証は発送いたしません。また、そのご連絡は致しかねますので予めご了承ください。
- 参加証はお一人様につき1枚必要となります。当日は参加証と引き換えで、指定席番号をお渡しいたします。指定席は来場順で運営サイドで決めさせていただきますので、ご希望を伺うことは致しかねますので、予めご了承ください。
- 定員になり次第、受付を終了させていただきます。いずれも先着順で受付をさせていただきます。(定員3,300名)
- 当日、出演者への面会要望には対応いたしかねます。
- 個人情報の保護に関して
お申し込みの際に頂きました情報は当団体からの参加証発送のみに使用し、当団体以外への開示・提供をすることはありません。
- 主会場が定員一杯になった場合は別会場(スクリーン会場)となりますので、ご了承ください。

お申し込み最終締め切り……8月20日(月)

がん患者インターネット大集会 開催のお知らせ

第3回がん患者大集会に、どこからでも参加できるイベントとしてインターネット上で、「がん患者インターネット大集会」を開催いたします。
[OKWaveの登録(無料)が必要です]

開催URL

- ①まずは、「がん患者大集会ウェブサイト～メインページ」へ
- ②メインページから下のリンクバナーで「がん患者インターネット大集会」に参加できます。



※参考:がん患者インターネット大集会URL
<http://service.okwave.jp/okwave/event/category/742/>

開催期間

2007年5月7日(月)から8月26日(日)の大会当日まで

メッセージ募集

あなたのメッセージが、第3回がん患者大集会の当日、パンフレットに
掲載され参加者全員に配布されます。[応募多数の場合は一部のみ掲載]

伝えよう! あなたの思い

【募集内容】 1 「愛する家族への手紙」
[メッセージは全角で800字(半角1,600字)以内]
一緒に暮らしている家族だからこそ、なかなか言えないことがある。がん治療生活を通じて感じた、あなたの気持ちを家族にきちんと伝えませんか。

2 「わたしが救われたあなたの言葉」
[メッセージは全角で800字(半角1,600字)以内]
病気になって悲しかったとき、苦しかったとき、“あなたのその言葉で、私は救われた”そんな心に残る一言を教えてください。

【募集期間】 2007年7月20日(金)深夜12時締め切り
郵送の場合は当日必着のこと

【応募方法】 1 Webでの応募の際にはOKWaveに登録する必要があります(無料)。応募の詳細については、ホームページでご確認ください。
2 郵送での応募は(1)応募内容の番号とタイトル、(2)連絡先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)、(3)ペンネームの際は、その旨とペンネームを明記の上、下記にご送付ください。
発送先: 〒164-0002

東京都中野区上高田四丁目八番地2-201号
第3回がん患者大集会実行委員会
インターネット大集会 武末文男
「伝えよう! あなたの思い」メッセージ応募係 宛

※郵送されたメッセージは主催者のIDによりOKWave上に掲載いたしますが、上記のうち(2)の個人情報は公開いたしません。ご応募いただいたメッセージのうち、パンフレットに掲載するメッセージについては、募集を締め切った後で、掲載の可否等についてのご確認を致します。

【お問い合わせ先】 FAX:03-6807-6391
E-mail: takesue.fumio@hsp.u-tokyo.ac.jp

【お申し込み先】

右のがきにお名前・ふりがな・ご住所・電話番号・メールアドレスをご記入の上、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

郵送: 〒722-0022
広島県尾道市栗原町5901-1
がん患者団体支援機構事務局 宛
FAX: **0848-24-2423**

Q&Aコーナー

患者のご家族・患者会など、患者を支援する人に対する相談窓口

【相談内容】

- ①家族にもできるがん治療“心のケア”相談
あなたの家族が、突然がんと告げられたとき、どうしたらいいかわからない。そんな時は、ひとりで悩まず、まずは相談してみませんか。
- ②患者会の設立・運営に関する相談
患者会を運営していると様々な問題があります。また、がん患者会の社会的役割も期待されています。そこで、患者会のスタッフ同士でお互いの活動について相談できる窓口を設けました。
※「教えて!(質問)→答える(回答)」というやり取りを繰り返すことにより、直面している問題に対する解決策を、家族や患者会が、あるいは経験者や専門家がアドバイスを致します。

郵便はがき

50円切手
をお貼り
ください

7 2 2 0 0 2 2

(受取人)
広島市尾道市栗原町5901-1
がん患者団体支援機構事務局 行

第3回がん患者大集会参加申し込み

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒 -
電話番号	() -
メールアドレス	
立 場	<input type="checkbox"/> 患者本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 医療者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他
ふりがな	
お名前	
ご住所	〒 -
電話番号	() -
メールアドレス	
立 場	<input type="checkbox"/> 患者本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 医療者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他

FAXをご使用になる方は、このままお流しください。専用FAX: 0848-24-2423

会場までのアクセス/ MAP

●JR広島駅から

路線バス【所要時間:約20分】○南口バス乗り場A-3ホームより、広島バス24号線吉島(よしじま)営業所または、吉島(よしじま)病院行き「平和記念公園」下車すぐ。
市内電車【所要時間:約20分】○広島港(宇品(うじな))①行「袋町(ふくろまち)」下車、徒歩5分。○西広島(己斐(こい))②、江波(えば)⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩5分。 **タクシー**【所要時間:約15分】

●広島空港から

リムジンバス【所要時間:約65分】○空港ターミナルビル1階到着フロア2番ホームより、広島バスセンター行「終点」下車、徒歩約5分。 **タクシー**【所要時間:約50分】

●広島港(宇品港)から

路線バス【所要時間:約30分】○広島バス21号線広島駅、大洲、向洋大原行「中電前」下車、徒歩約5分。○広島駅①、西広島(己斐(こい))③行「中電前」下車、徒歩約5分。 **市内電車**【所要時間:約30分】 **タクシー**【所要時間:約20分】



会場付近宿泊情報

●宿泊取扱日

2007年8月25日(土) / 2007年8月26日(日)

●取扱ホテル

広島全日空ホテル / ホテルサンルート広島 / ドーミーイン広島 / オリエンタルホテル広島 / ホテル法華クラブ広島 / 三井ガーデンホテル広島

●宿泊に関するお問い合わせ・お申し込み先

株式会社JTB中国四国 福山支店
広島県福山市伏見町1-22 TEL.084-922-6630 FAX.084-926-2321
E-mail : fukuyama_spt@jtb.jp
営業時間 / 9:30~17:30 (月~金) 担当 / 綱島(つなしま)・秦(はた)
※予約状況、宿泊金額の詳細については上記までお問い合わせください。

【後援】

厚生労働省、文部科学省、広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、(社)広島県社会福祉協議会、日本医師会、(社)日本看護協会、(社)日本薬剤師会、(社)日本臨床衛生検査技師会、(社)広島県医師会、(社)広島市医師会、(社)呉市医師会、(社)広島県看護協会、(社)広島県歯科医師会、(社)広島県臨床検査技師会、(社)広島県放射線技師会、(社)広島県薬剤師会、(財)広島がんセミナー、日本癌治療学会、日本緩和医療学会、日本癌学会、(社)日本血液学会、日本婦人科腫瘍学会、日本サイコオンコロジー学会、有限責任中間法人 日本乳癌学会、日本放射線腫瘍学会、(財)日本対がん協会、日本製薬工業協会、(財)医用原子力技術研究振興財団、(財)先端医療振興財団、日本医療機器産業連合会、広島県地域女性団体連絡協議会、(財)広島県女性会議、(財)癌研究会、日本死の臨床研究会、有限責任中間法人 日本医療コーディネーター協会、(社)共同通信社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、ひろしまPステーション、日本ホスピス在宅ケア研究会、Japan Partners Against Pain (JPAP)、NPO法人 日本臨床腫瘍学会、NPO法人 HLA研究所、NPO法人 日本医療政策機構、NPO法人 楽患ねっと、NPO法人 婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構 (JGOG)、NPO法人 日本臨床研究支援ユニット (J-CRSU)、NPO法人 キャンサーネットジャパン、NPO法人 東京地域チーム医療推進協議会 (Team NET)、NPO法人 ひろしま女性NPOセンター未来、HLA研究所 淳彦基金・淳彦基金を育てる会 (順不同 / 2007年4月14日現在)

【協賛】

アイアールエックス・メディシン / 株式会社オズ・インターナショナル、社団法人安芸地区医師会、アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、アメリカンファミリー生命保険会社、エーザイ株式会社、科研製薬株式会社、キリンビール株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、シュering・プラウ株式会社、塩野義製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、中外製薬株式会社、株式会社デオデオ、株式会社東京ベイ・メディカルフロンティア、日本化薬株式会社、株式会社日本経済広告社、日本シェリング株式会社、萬有製薬株式会社、株式会社広島銀行、広島県厚生農業組合連合会広島総合病院、ファイザー株式会社、富士テレビ株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、株式会社もみじ銀行、株式会社ヤクルト本社、ヤンセンファーマ株式会社 (50音順 / 2007年4月14日現在)

一口協賛のお願い

みなさまのご協力が頼みの綱です。
ぜひよろしくお願ひします。

がん患者大集会は、その趣旨に賛同いただけた皆様からの協賛金によって運営されております。ご協力いただける場合には、下記口座にご入金いただけますようお願い申し上げます。

- 協賛金……………1口 1,000円(何口でも)
- 郵便振替口座 01380-3-85373
- 口座名: 第3回がん患者大集会実行委員会
- ダイサンカイガンカンジャダイシユウカイジツコウイ



お問い合わせ先 ▶

がん患者団体支援機構 事務局
〒722-0022 広島県尾道市栗原町5901-1
第3回 がん患者大集会実行委員長 浜中 和子
FAX: 0848-24-2423
E-mail: info@daishukai.net